
30年後の水俣像

30年後の水俣像の検討(A班)

ピンピンころりのまち

水俣に暮らした人全てがこのまちに生きてよかった!と思えるまち

ハード面

30年後は、天草と橋でつながり、橋では色々なイベントが行われる。橋のどこからでも釣りができる。全国から釣りファンのメッカとなっている

30年後は、市内どこにも行けるモノレールがあり、観光にも市民の足として動いている。モノレールはもちろん市内で発電した電気を使っている

高校卒業生が全員残るまち、残りたいまち
※水俣市の中での最高学府が高校のままの場合

気候の良い時期だけ仕事し、暑い日は海で魚釣り

30年後の働き方

自然と生産(ものづくり)と暮らしがしっかり繋がっているまち

本物の環境大学が出来ている



ライフスタイル(ソフト)

ひとりひとりの苦勞が生きていく社会(楽あれば苦あり。苦あれば楽あり)

ひとりひとりの知的感性的リソースに自由にアプローチできる

30年後物々交換で暮らしていけるまち。

全ての家庭に家庭菜園があるまち。

30年後は市内中心部に田や畑が増えて、全体が緑に囲まれた町になっている。農業も自分の家の前で行える。

地域ごとのまとまりがある、かつ個人個人の個性が許される

他の人の幸せを考える人が一番幸せになるまち

産業団地がエコ産業で活性化
若者の地産地消

エネルギーの自給自足
食物の自給自足

人口

人口	3万~4万人
年少人口	1万人
生産人口	2万5千人

人口は出来るだけ少なく、海・山・川の幸が余るくらい的人口が素敵

30年後の水俣像の検討(B班)

「うるおい」のある生活

観光 ～ 海 ～

不知火海の海底プラズ迷路

恋路島は利用出来ないか・・・

エネルギー

休耕地に太陽光発電

全ての家庭で自家発電

交通手段

自転車と徒歩が移動の主流となる
省資源、健康になる

移動手段によって中央と地方の時間的短縮
(短時間移動を実現したい)

電柱、電線がないまち

市内の隅々までライトレールを走らせる、車要らず

農業・地産地消

水俣の地域通貨で日常の消費が賄えるようになる

大関山伏流水の水工場

農産物を粉末にして健保食品を作る

お金をあまり使わない生活が主流となる
(「物が域外から入って来なくなる。使いたくてもお金が使えないかも」)

完全な地産地消

農業用地を造る

食に関する全てが域内で調達できる社会の実現
(食の安全観点から)

安心・安全な生活

仕事がある

希望者全員が水俣で働ける

安全な暮らし・防災

地下の文化会館
(避難所兼用)

医療・介護の心配がいらぬまち
(すごく現実的ですが)
音(雑音のない)世界
静かな社会

安心できる暮らし

水俣のライフスタイル(生き方)が世界的な健康ブームを巻き起こす
「食」、「生活」、「趣味」など健康的な生き方が流行る

30年後の水俣像の検討(C班)

若い人と子供が 元気な街

元気で働き続けられる

水俣を大好きな子供がいっぱいいる

「子育てのまち水俣」
「幼児期だけでも水俣で」都市部の母親が殺到

子供が帰ってこれるまち

元気な農林漁業

山と川と海で自給して暮らす

農林漁業をすると飯が食えてしまうまち

安心安全な食べ物が、すぐ手に入るようになっている

農業者が普通に働き普通の生活が出来る

木造住宅100%

森林で食えるまち

自給自足でリサイクルできるまち

「水俣 自給自足」暮らしに必要なもの全て地産地消

色んな文化が育つ街

里山で文化作り

行列のできる巡礼の聖地水俣
(食・農・森・環境)

街中には「花」があふれている
きれいな街になっている

移動のしやすい街

可能な限り地域の中で孤立せずに生活できる

バス停が200mに1箇所くらいあり、乗り降りが便利になっている

山を削って海を埋め立て全部平地

自家発電だけで暮らす街

百円タクシーが走っている
安い!

安心な生活を送れる街

高齢者が安心して暮らせる街
になっている

水俣には病気の人が少ないニコニコ顔

年代別に片寄らない生活基盤がある

近代化を超え少ない金で豊かに生きる街

水俣市民総中流

30年後の水俣像の検討(各班の意見集約)

分野	A班	B班	C班
まちのイメージ	<ul style="list-style-type: none"> 水俣に暮らした人全てがこのまちに生きてよかった!と思えるまち 	<ul style="list-style-type: none"> うるおいのある生活 安全・安心な生活 	<ul style="list-style-type: none"> 若い人と子供が元気な街 色んな文化が育つ街 安心な生活を送れる街
農林漁業	<ul style="list-style-type: none"> 市内中心部に田や畑が増えている 農業が自分の家の前のできる 全ての家庭に家庭菜園がある 	<ul style="list-style-type: none"> 農業用地を造る 農産物を粉末にして健保食品を作る 大関山伏流水の水工場 	<ul style="list-style-type: none"> 農林漁業で飯が食えるまち 農業者が普通に働き普通の生活ができる 森林で食える
地産地消 ・食の安全	<ul style="list-style-type: none"> 食物の自給自足 物々交換で暮らしていける 	<ul style="list-style-type: none"> 完全な地産地消 食に関する全てが域内で調達できる 	<ul style="list-style-type: none"> 自給自足でリサイクルできる 安心安全な食べ物が、すぐ手に入るようになっている
地域経済 (産業・雇用)	<ul style="list-style-type: none"> 産業団地がエコ産業で活性化 若者の地産地消 	<ul style="list-style-type: none"> 希望者全員が水俣で働ける お金をあまり使わない生活が主流となる 	<ul style="list-style-type: none"> 元気で働き続けられる 少ない金で豊かに生きる 水俣市民総中流
エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> エネルギーの自給自足 	<ul style="list-style-type: none"> 休耕地に太陽光発電 全ての家庭に自家発電 	<ul style="list-style-type: none"> 自家発電だけで暮らすまち
交通	<ul style="list-style-type: none"> 市内どこにも行けるモノレールがあり、観光にも市民の足として動いている 	<ul style="list-style-type: none"> 中央と地方の時間的短縮 市内の隅々までライトレールを走らせる 自転車と徒歩が主流の生活 	<ul style="list-style-type: none"> バス停が200mに1箇所くらいあり、乗り降りが便利になっている 百円タクシー
観光	<ul style="list-style-type: none"> 天草と橋でつながり、橋では色々なイベントが行われる 	<ul style="list-style-type: none"> 不知火海の海底トンネル 恋路島の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 行列のできる巡礼の聖地水俣(食・農・森・環境)
教育・子育て	<ul style="list-style-type: none"> 本物の環境大学が出来ている 		<ul style="list-style-type: none"> 子育てのまち水俣
安全・安心		<ul style="list-style-type: none"> 地下の文化会館(避難所兼用) 医療・介護の心配がない 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者が安心して暮らせる 病気の人が少ない 年代別に片寄らない生活基盤がある

5年以内にしたいこと、できらいいなと思うこと

5年以内に実現したいこと

農林漁業

水俣の水をブランド化し販売、同一ブランドで農水産物を販売

植樹園を作る
・子供が産まれた
・結婚した
・金婚式 等 …

被災者を受け入れて移住、就農

年に一人一作物を作る事業をやる。
農業に親しむ機会を作る。CO2削減の取組みにもなる。

間伐材を利用してチップ化し、固定化してストーブに活用する。

薪ストーブ購入の補助制度ができる。

毎年1ha 新しい農地を

薪ストーブの普及と市有林間伐材の販売

薪 販売

竹林間伐→竹炭焼き→田畑へ→CO2固定化

地産地消・食の安全

カボチャのスイーツづくり

菜種油の惣菜

アイスクリームの商品化
(地産品)

わかめアイス再び
(CO2は炭火焼で固定)

水俣産だけの食卓の日
(市報に載せる)

食の安全を都市部へ発信

小児若年者の放射線内部被曝を防ぐ
包括的食品検査

5年以内に実現したいこと

地域経済 (産業・雇用)

【仕事】

ネット起業しやすい環境づくり
1. 市役所「ネット起業支援室」
2. 中学、高校の部活動として

介護現場で働く人たちの環境整備を

【産業】

高速道路ののり面にCO2を吸収しやすい
作物を植える。管理費も入ってホクホク。

観光

湯の鶴・湯の児の温泉をペットも利用できる
温泉に！！
ペットと人が一緒に泊まれる

環境聖地としての研修
御札販売、免罪符販売

秋葉山に「水」の字でもみじを植樹

エネルギー

学校に太陽光発電
(小学校、中学校、高校も)
まずは学校の電力は自給自足

交通

必要なときにいつでも利用できる
交通手段

教育・子育て

まずは通信教育の環境大学からスタート！！

育児期間の住宅供給

安全・安心

市営住宅の駐車場を畑にして、一人暮らしの
入居者のコミュニティを作る。みんな
で作物を作って楽しく過ごす。

人生相談カウンセリング機能を充実

市民の憩いの場となるが街角ポケット
パークが整備される。

環境被害地の人の苦勞が癒されるコミュ
ニケーション

気軽に相談できる窓口の整備を

民生委員のような人々のスキルアップと
待遇改善

注文配達(安価で)完備

【健康】

・健康ポイント制度の導入
定期健診を受ける。献血をするなどでポ
イントをGet！ たまったポイントは病院な
どで使える

**『30年後の水俣像』と
『5年以内に実現したいこと』の整理**

30年後と5年後の整理

分野	30年後の姿(事務局まとめ)	5年以内を実現したいこと
農林漁業	<ul style="list-style-type: none"> ● 農林漁業が活性化され、従事する人の生活も豊かになっている ● 市内は緑や花にあふれ、家庭菜園が多くの家にある 	<ul style="list-style-type: none"> ● 水俣の水をブランド化し販売、同一ブランドで農水産物を販売 ● 薪ストーブの普及 & 間伐材を利用したチップの販売 ● 植樹園を作り、市民がイベント時に木を植える ● 一人一作物イベントにより、農業に親しむ機会の創出 ● 毎年1ha新たな農地を開拓する ● 竹林から竹炭を作り、畑にまいてCO2削減
地産地消・食の安全	<ul style="list-style-type: none"> ● 地産地消の推進により、食物の自給率が大幅に向上し、安心安全な食べ物が容易に手に入る 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地産品を用いた商品の開発(かぼちゃスイーツ、アイスなど) ● 地産地消を推進する施策(水俣産の食卓の日、など) ● 放射能汚染も含めた食の安全の検査と発信を行う
地域経済(産業・雇用)	<ul style="list-style-type: none"> ● 産業団地はエコ産業で活性化し、雇用を創出している ● モノ・カネの域内循環が盛んになり、水俣市全体が豊かになる 	<ul style="list-style-type: none"> ● ネット起業しやすい環境づくり ● 介護現場で働く人たちの環境改善 ● 高速道路のり面を活用した作物栽培
エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ● 休耕地への太陽光発電、各家庭での自家発電等により、エネルギーの自給自足を達成 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校に太陽光発電を設置し、学校の電力を自給自足
交通	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共交通機関の発達により、市民の移動が便利になっている 	<ul style="list-style-type: none"> ● 必要なときにいつでも利用できる交通手段を作る
観光	<ul style="list-style-type: none"> ● 新たな観光スポットの発掘等により、観光振興が図られている ● 食・農・森など環境への取組みにより、環境観光が盛んになっている 	<ul style="list-style-type: none"> ● 湯の鶴・湯の児温泉をペットも利用できる温泉に ● 環境の聖地として研修生を受け入れ、環境の免罪符を販売する(収益は環境保護活動へと活用) ● 秋葉山に「水」の文字でもみじを植樹
教育・子育て	<ul style="list-style-type: none"> ● 本物の環境大学が出来ている ● 「子育てのまち水俣」が定着している 	<ul style="list-style-type: none"> ● まずは通信教育の環境大学からスタート ● 育児期間の住宅供給
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者をはじめ、安全・安心に暮らせる社会基盤が整備されている 	<ul style="list-style-type: none"> ● 相談カウンセリング窓口の充実 ● 市民の憩いの場となるコミュニティパーク等の設置 ● 定期健診等で貯まる「健康ポイント制度」の導入